NATURE ENVIRONMENT

― 緑に囲まれた自然環境での建築事例 ―

1.OVERVIEW

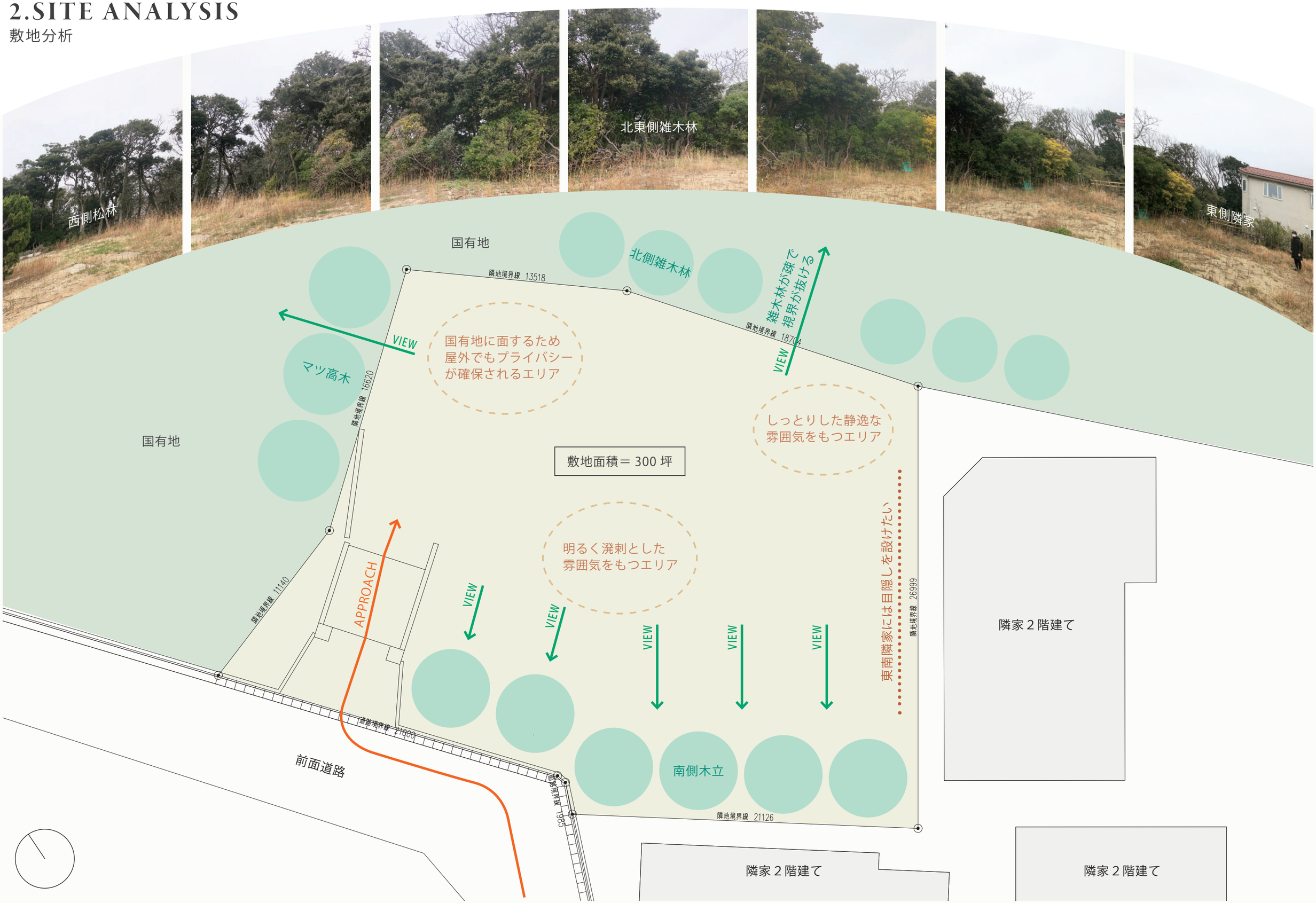
緑に囲われた環境での建築事例

BEFORE

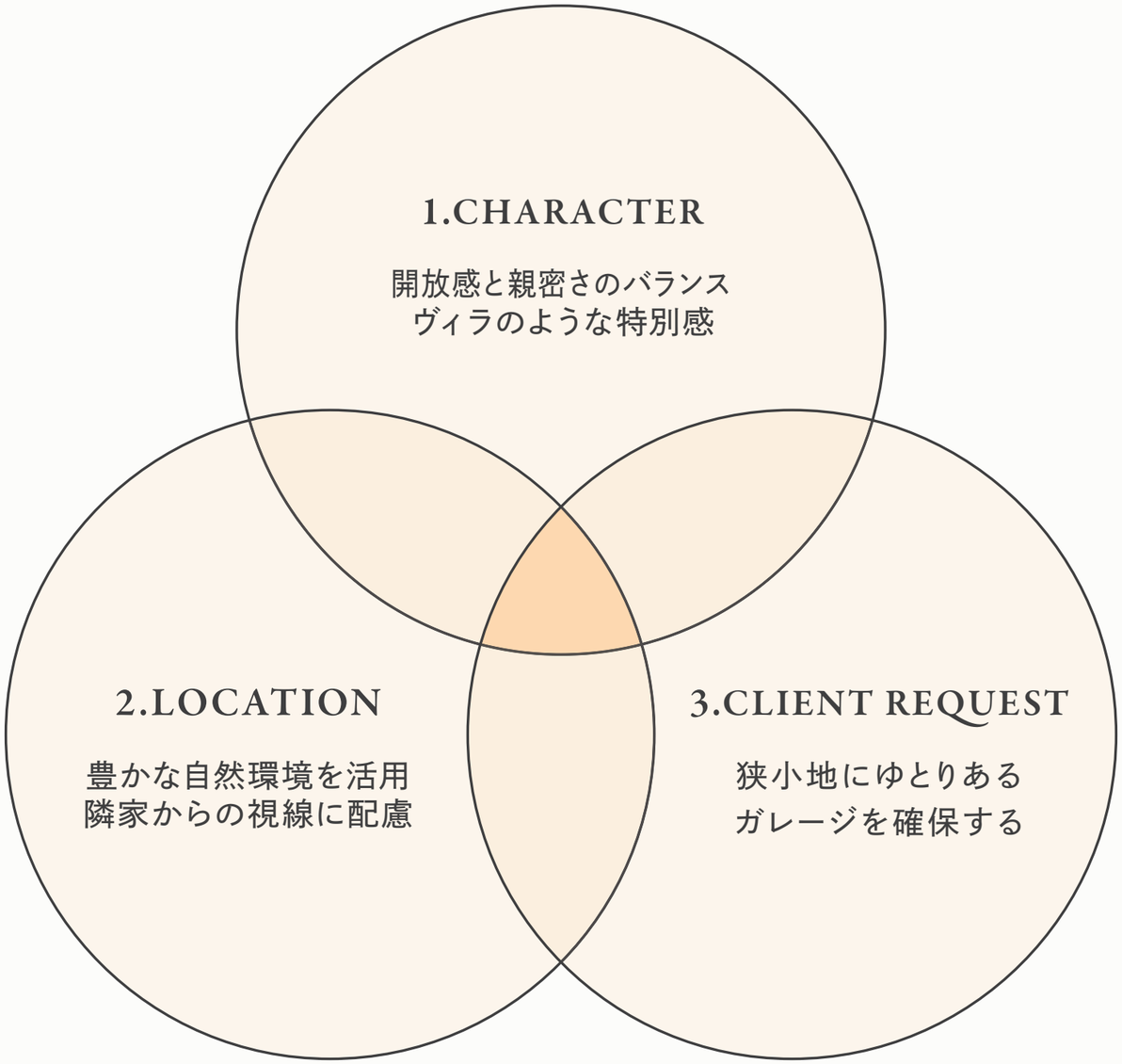
→

AFTER

2.SITE ANALYSIS
敷地分析

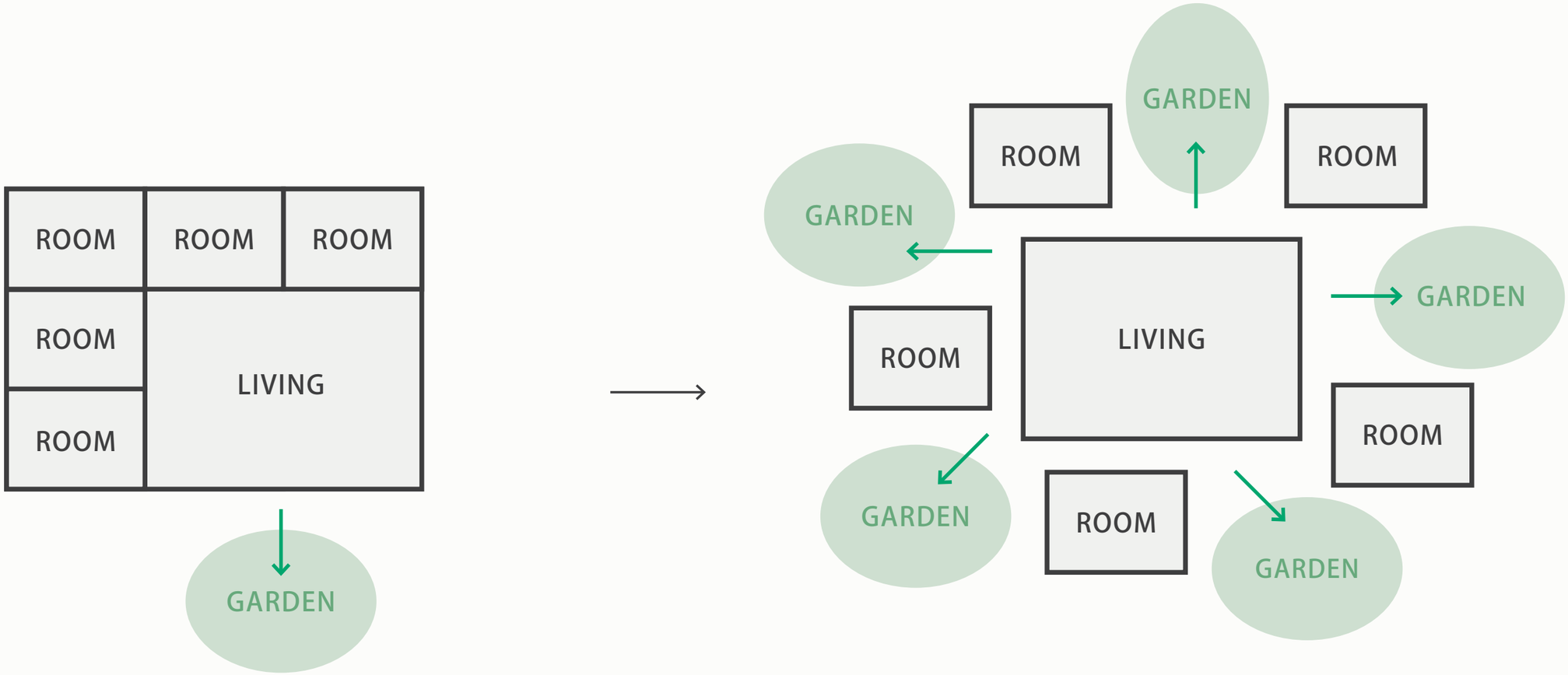


3.CONCEPT
全体コンセプト



360° 敷地を囲む豊かな自然環境。よく見るとその豊かさは均質にあらず、場所毎にユニークな魅力に溢れている。
これこそまさに自然の姿である。そのなかに建つ建物は、自然環境対して「開くこと」と「閉じること」を丁寧にデザインされるべきである。
自然環境を場所毎に切り取ることで、場所毎の魅力を助長して映し出す。ゆえに開放感と親密さが共存する、そんな建物を創造する。

3.CONCEPT
全体コンセプト



A.収束する間取り

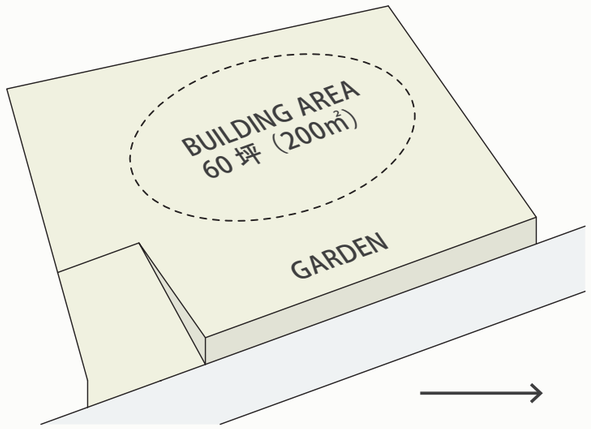
B.離散する間取り

一般的な間取り（A.収束する間取り）では360° 囲む自然環境を、一方向しか活かせない。
そこで個室を飛び出させた間取り（B.離散的な間取り）とすることで、360° 囲む自然環境を建物に存分に採り込む。

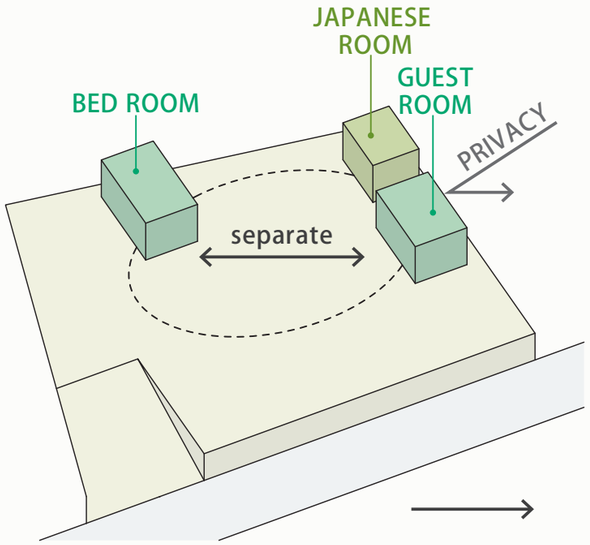
3.CONCEPT
コンセプトモデル

3.CONCEPT

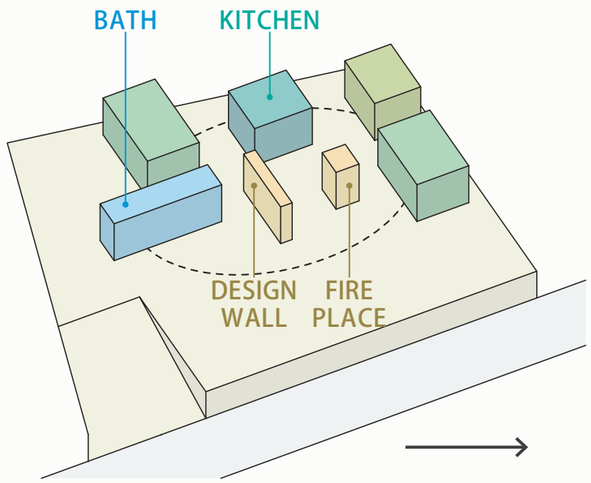
ダイアグラム



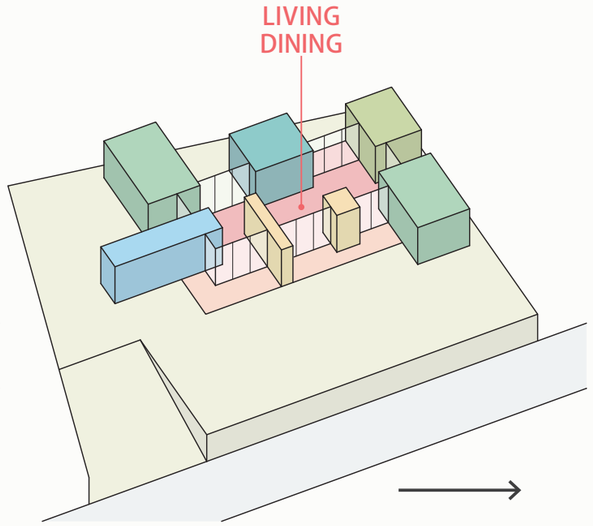
1. 南側に庭を残すように、北側に寄せて建物を建てる。



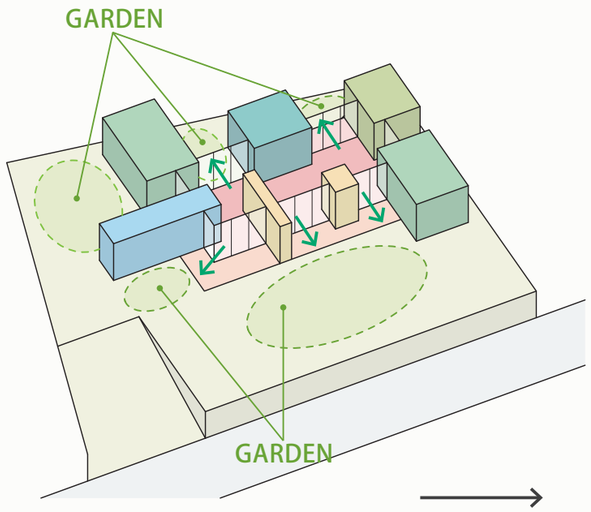
2. ベッドルームはプライバシーに配慮して、最もし静かな北西側に配置する。ゲストルームと和室はベッドルームと対角位置に配置し、互いに十分な距離を保つように計画する。またゲストルームと和室は隣家からの視線もカットする。



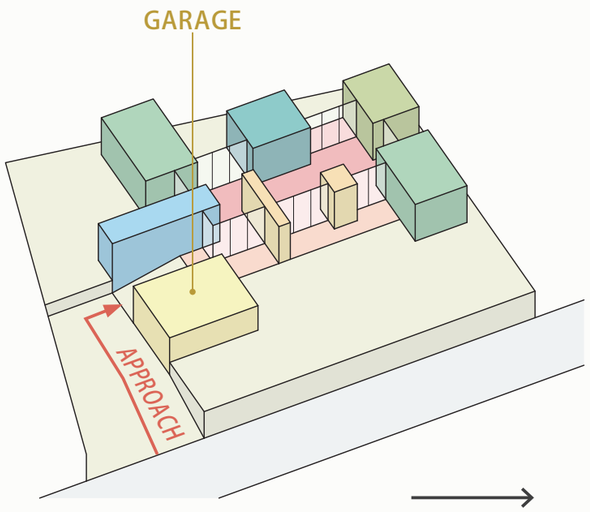
3. キッチンは北側雑木林を眺めながら調理できるように北東側に、バスルームは利便性からベッドルームの近傍に配置する。暖炉は庭を見て寛げるように南側に設ける。また屋外からの目隠しになるよう道路側にデザインウォールをつくる。



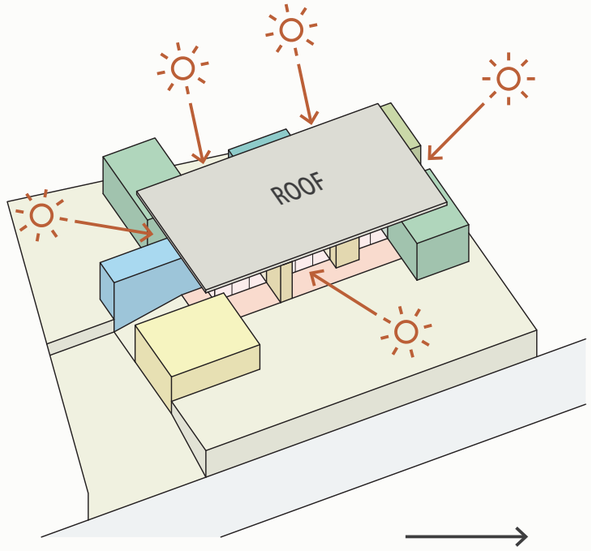
4. 各室ブロック間にガラスを嵌め込み、囲われた中央ゾーンをリビングダイニングとする。各室ブロックとその間のガラスの塩梅で、「親密さ」と「開放性」の絶妙なバランスをデザインする。



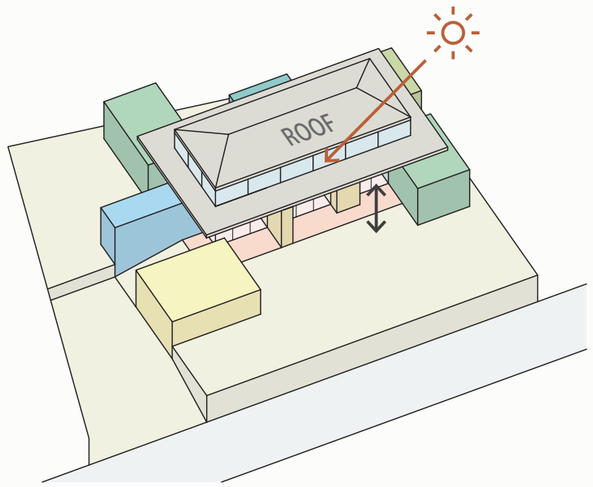
5. 各室ブロックの間に庭をつくり、360 度庭に面するリビングダイニングとする。南側には溌剌としたフロントガーデン、北側にはしっとりしたバックガーデンなど、各庭はそれぞれ場所に合わせたユニークな庭をデザインする。



6. 現況車路の脇にガレージを設ける。母屋より低い位置に構えることで、ガレージ屋根を低く抑え、母屋からの眺望を妨げにくい構成とする。また外観の圧迫感も軽減され、外構の一部のようなガレージになる。

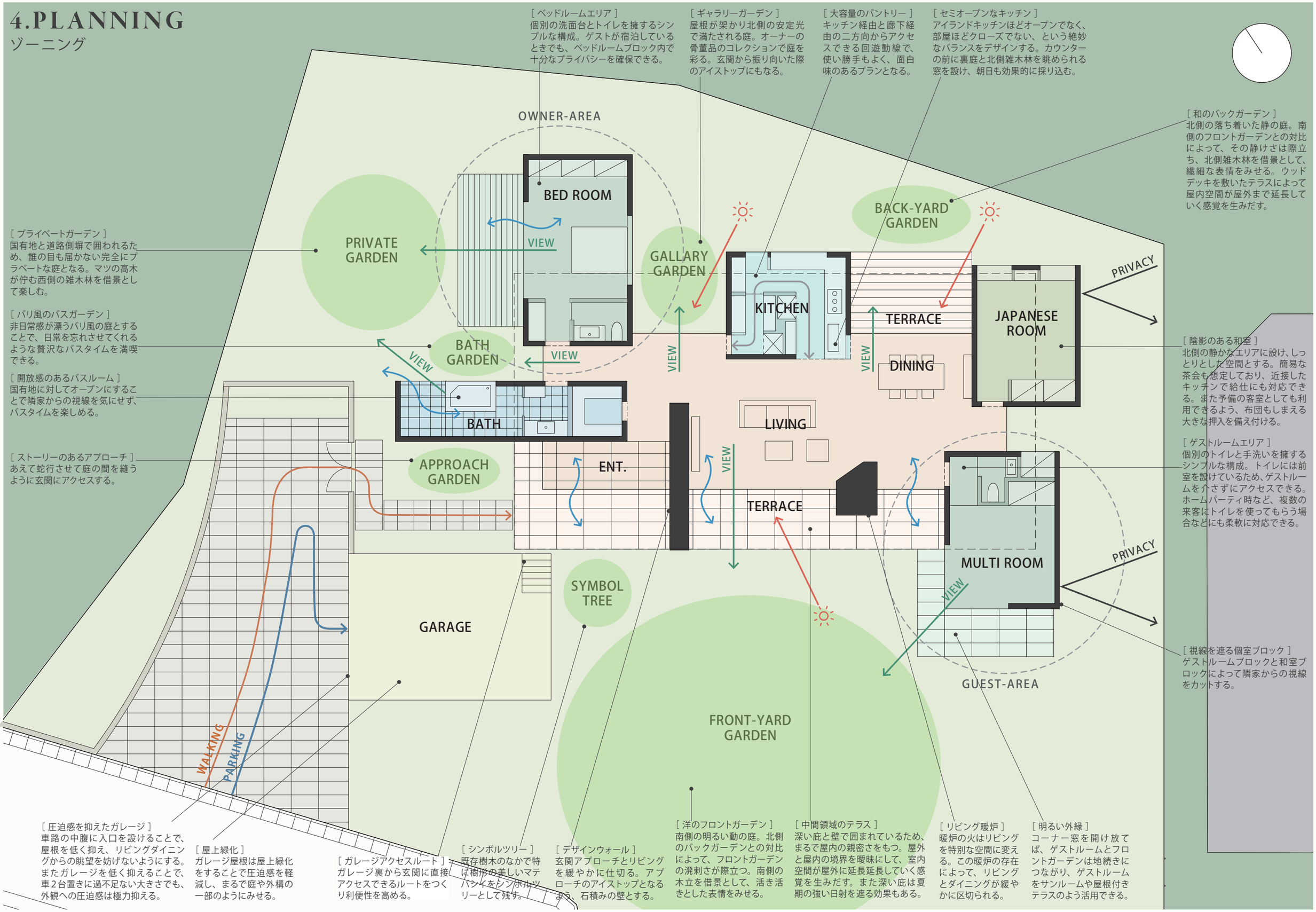


7. リビングダイニングのうえに長方形のシンプルに屋根を架ける。リビングダイニングには各室ブロックの隙間から庭越しに陽光と風が差し込む。



8. さらに屋根を折り上げて、ハイサイド窓を設ける。リビングダイニングの奥方にも満遍なく天空光と風を届ける。またハイサイド窓から青空や雑木林の木立を見せる。

4.PLANNING
ゾーニング



［ベッドルームエリア］
個別の洗面台とトイレを擁するシンプルな構成。ゲストが宿泊しているときでも、ベッドルームブロック内で十分なプライバシーを確保できる。

［ギャラリーガーデン］
屋根が架かり北側の安定光で満たされる庭。オーナーの骨董品のコレクションで庭を彩る。玄関から振り向いた際のアイストップにもなる。

［大容量のパントリー］
キッチン経由と廊下経由の二方向からアクセスできる回遊動線で、使い勝手もよく、面白味のあるプランとなる。

［セミオープンなキッチン］
アイランドキッチンほどオープンでなく、部屋ほどクローズでない、という絶妙なバランスをデザインする。カウンターの前に裏庭と北側雑木林を眺められる窓を設け、朝日も効果的に採り込む。

［和のバックガーデン］
北側の落ち着いた静の庭。南側のフロントガーデンとの対比によって、その静けさは際立ち、北側雑木林を借景として、繊細な表情をみせる。ウッドデッキを敷いたテラスによって屋内空間が屋外まで延長していく感覚を生みだす。

［プライベートガーデン］
国有地と道路側塀で囲われるため、誰の目も届かない完全にプラベートな庭となる。マツの高木が佇む西側の雑木林を借景として楽しむ。

［バリ風のバスガーデン］
非日常感が漂うバリ風の庭とすることで、日常を忘れさせてくれるような贅沢なバスタイムを満喫できる。

［開放感のあるバスルーム］
国有地に対してオープンにすることで隣家からの視線を気にせず、バスタイムを楽しめる。

［ストーリーのあるアプローチ］
あえて蛇行させて庭の間を縫うように玄関にアクセスする。

［陰影のある和室］
北側の静かなエリアに設け、しっとりとした空間とする。簡易な茶会も想定しており、近接したキッチンで給仕にも対応できる。また予備の客室としても利用できるよう、布団もしまえる大きな押入を備え付ける。

［ゲストルームエリア］
個別のトイレと手洗いを擁するシンプルな構成。トイレには前室を設けているため、ゲストルームを介さずにアクセスできる。ホームパーティ時など、複数の来客にトイレを使ってもらう場合などにも柔軟に対応できる。

［視線を遮る個室ブロック］
ゲストルームブロックと和室ブロックによって隣家からの視線をカットする。

［圧迫感を抑えたガレージ］
車路の中腹に入口を設けることで、屋根を低く抑え、リビングダイニングからの眺望を妨げないようにする。またガレージを低く抑えることで、車2台置きに過不足ない大きさでも、外観への圧迫感は極力抑える。

［屋上緑化］
ガレージ屋根は屋上緑化をすることで圧迫感を軽減し、まるで庭や外構の一部のようにみせる。

［ガレージアクセスルート］
ガレージ裏から玄関に直接アクセスできるルートをつくり利便性を高める。

［シンボルツリー］
既存樹木のなかで特に樹形の美しいマテバシイをシンボルツリーとして残す。

［デザインウォール］
玄関アプローチとリビングを緩やかに仕切る。アプローチのアイストップとなるよう、石積みの壁とする。

［洋のフロントガーデン］
南側の明るい動の庭。北側のバックガーデンとの対比によって、フロントガーデンの溌剌さが際立つ。南側の木立を借景として、活き活きとした表情をみせる。

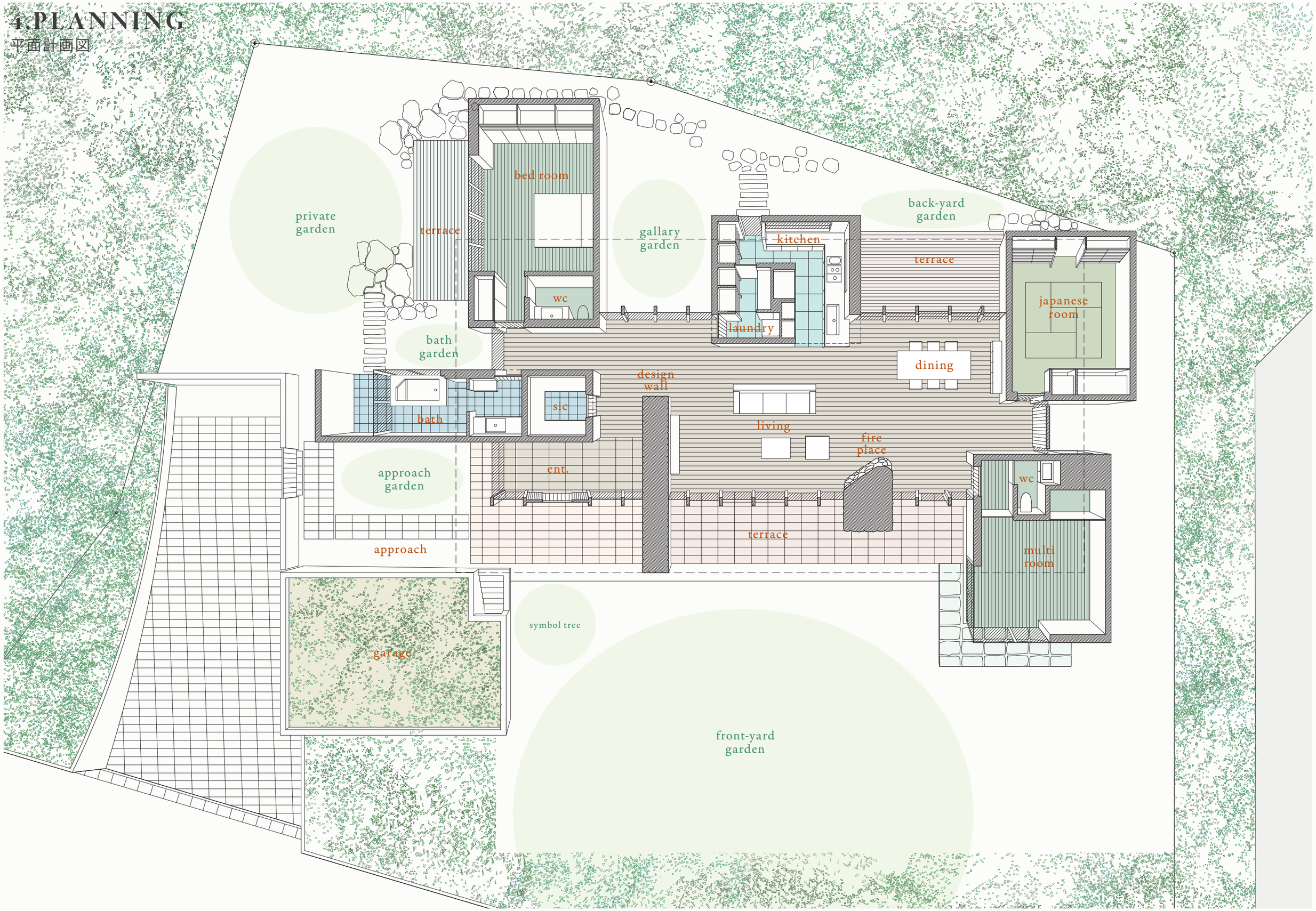
［中間領域のテラス］
深い庇と壁で囲まれているため、まるで屋内の親密さをもつ。屋外と屋内の境界を曖昧にして、室内空間が屋外に延長延長していく感覚を生みだす。また深い庇は夏期の強い日射を遮る効果もある。

［リビング暖炉］
暖炉の火はリビングを特別な空間に変える。この暖炉の存在によって、リビングとダイニングが緩やかに区切られる。

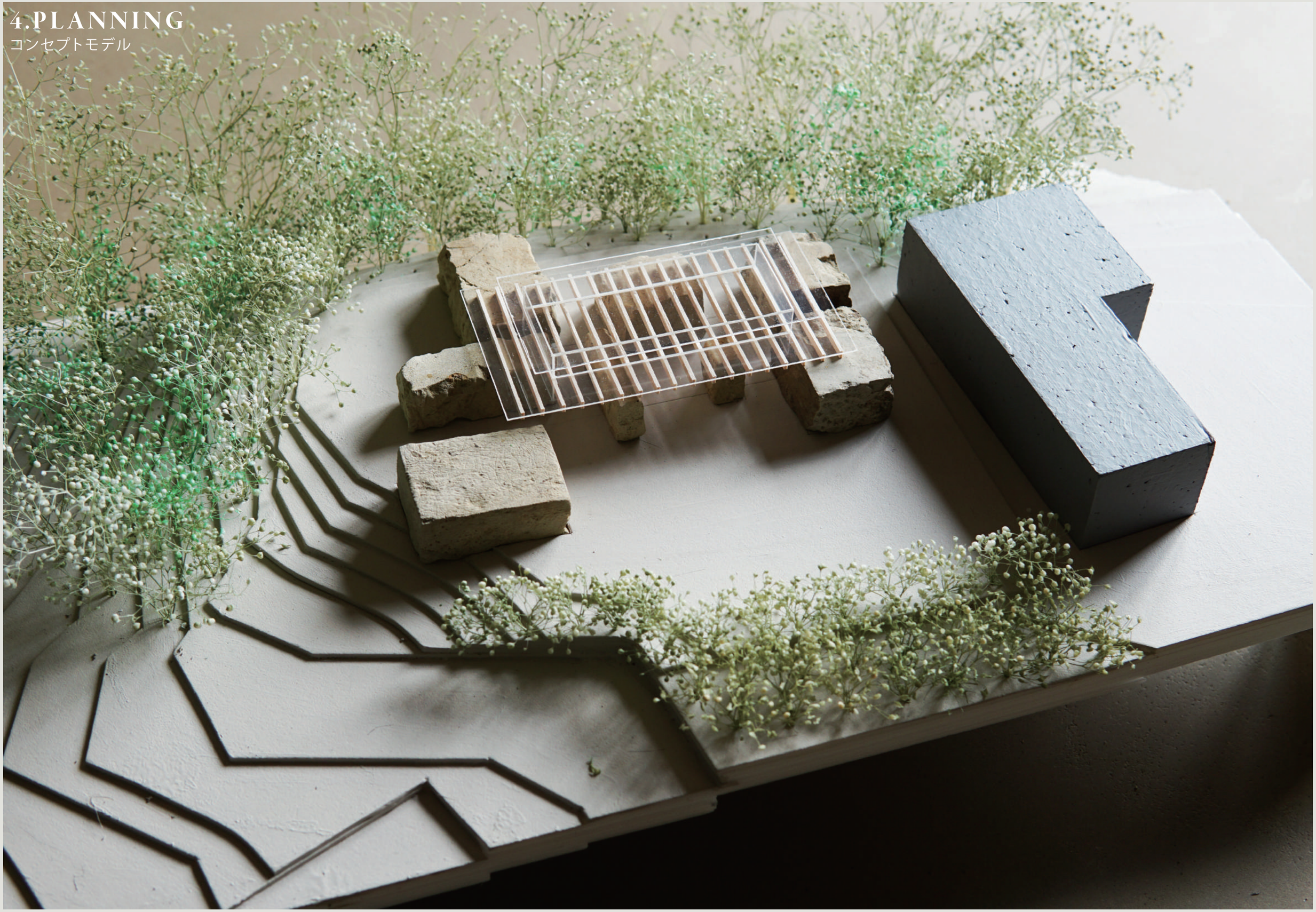
［明るい外縁］
コーナー窓を開け放てば、ゲストルームとフロントガーデンは地続きにつながり、ゲストルームをサンルームや屋根付きテラスのよう活用できる。

4.PLANNING

平面計画図



4.PLANNING
コンセプトモデル



5.CONSTRUCTION
完成までの建設プロセス

基礎耐圧盤コンクリート打設

基礎立ち上がりコンクリート打設

木造建て方

石工事

設備工事

木部造作工事

タイル工事

建具工事

外構工事

6.REALISATION
メインアプローチから建物をみる

アプローチから建物を見る。建物は緑に囲まれた豊かな環境と呼応しながら品性よく佇む。右手のガレージも低く抑え、屋上緑化をするることで圧迫感を軽減させ、外構のなかに自然に溶け込ませる。

6.REALISATION
南側主庭から建物をみる

南側の主庭より建物を見る。寄棟屋根が石の各室ブロックのうえに載るシンプルな構成。各室ブロックとその間に嵌め込まれたガラスの塩梅で、「親密さ」と「開放性」の絶妙なバランスをデザインする。

6.REALISATION
リビングから主庭をみる

石積みの壁や各室ブロックとその間に嵌め込まれたガラスの塩梅で、「親密さ」と「開放性」の絶妙なバランスをデザインする。仕上げは石貼り、飴色の無垢木材とのコンビネーションで深みある空間をつくる。

6.REALISATION
リビングからダイニングをみる

300 mmせいの木梁のうえに折り上げ屋根を載せて吹き抜けをつくった。吹き抜けには緑が顔を覗かせ、光や風を室内に導く。この物質感のある梁と吹き抜けの掛け合いも、「親密さ」と「開放性」の絶妙なバランスを成立させている。

6.REALISATION
北側のバスルームをみる

国有林と道路側の建物ボリュームで囲われるため、誰の目も届かない完全にプラベートなスペース。ここにバスルームと異国情緒ただようガーデンを設けた。国有林を借景に贅沢なバスタイムを楽しむことができる。

・
・
・

続きはウェブページからコンセプトブックをお取り寄せ下さい。
より具体的な物件の写真、建設情報などをご覧いただけます。